

消防団 たずね歩き

長田消防団 第三分団

長田消防団 第三分団は長田神社東側を管轄区域としています。

消防団に入団のきっかけ

父親も長田消防団員だったということもあり、私が幼いころから近所で出会う人達や親しくしてくれている方々の多くが消防団員でしたが、私が結婚して独立、区外で生活することになったため長田消防団への入団には至っていませんでした。その後、勤務地が長田区内にある者の入団が可能となり長田消防団に入団しました。

阪神淡路大震災の経験

阪神・淡路大震災が発生した時、実家のことが心配になり急いで長田区にある実家に向かいました。付近一帯は地震によって多くの建物が倒壊していました。その時私は30歳でしたが、実家付近は年配の方が多く、身体の不自由な方もいらっしゃいました。

倒壊した家屋の中から人々を助けようにも、その人たちを知る人も無く、私一人での救助活動でした。最後の方を救助した頃にはお昼をとうに回っており、すでに亡くなられている方もいらっしゃいました。

その時には「一人では無理だ、何とか他の人たちの力を借りられないか。もしグループやチームで活動できていたら、状況は変わっていたのではないか」と心から思いました。

今は長田消防団員となり、管轄エリアには同僚の消防団員もおおり、その心配や不安は解消されてきました。

とはいえ、南海トラフ巨大地震の発生確率80%ともいわれているなか、完全に不安が拭いきれているわけではありません。

阪神淡路大震災を教訓とし、経験を生かすためにもさらなる連携・連帯を重視し、活動して参ります。

また、高齢化で厳しい環境ではありますが、なんとか若い人の力をと日々勧誘活動にも力を入れております。

(長田消防団第三分団 分団長 中山明俊)



令和3年度文化財防火デー訓練

～長田神社にて～